図版



河原第3遺跡・河原第6遺跡遠景(西より)



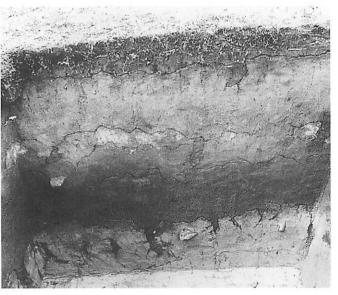
1 7トレンチ遺物出土状況(東から)



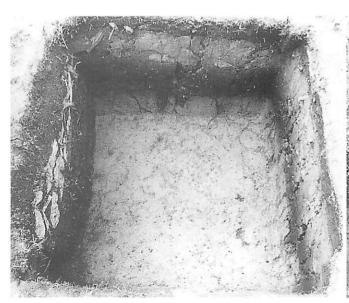
2 8トレンチ遺物出土状況(南から)



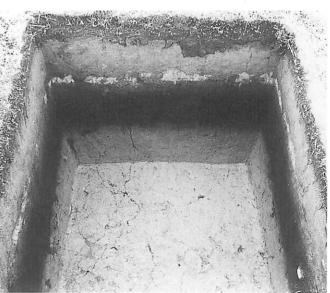
3 7トレンチ西壁土層断面(東から)



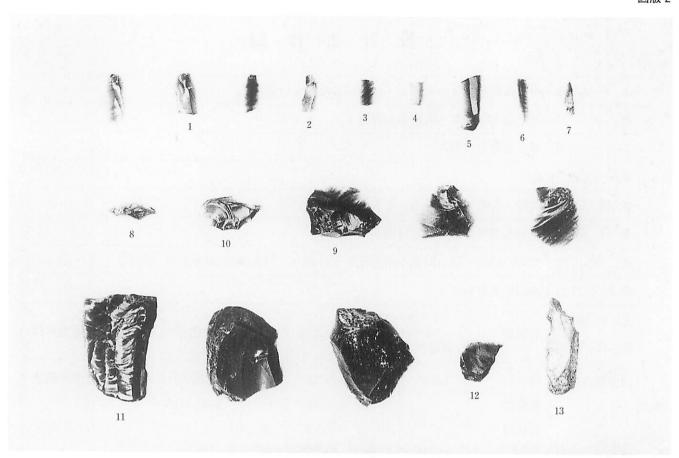
4 8トレンチ東壁土層断面(西から)



5 7トレンチ完掘状況(東から)



6 8トレンチ完掘状況(北から)



1 旧石器時代の遺物(河原第3遺跡)



2 3トレンチ南壁土層断面(北から)

3 3トレンチ完掘状況(北から)

報告書抄録

ふりがな	かわはらだい 3 いせき 4・かわはらだい 6 いせき 1									
書 名	河原第3 遺跡 4 · 河原第6 遺跡 1									
シリーズ名	考古学研究室報告									
シリーズ番号	40									
編集者名	中村 友昭 (なかむら ともあき)									
発 行 機 関	熊本大学文学部考古学研究室									
所 在 地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2丁目40-1 TEL.096-344-2111 (代表)									
発行年月日	2005年 3 月31日									
ふりがな	所在地	コード		北緯	韓 東経	調査期間		調査面積	調査原因	
所収遺跡	771 1II. JU	市町村	遺跡番号	40 Mil.	木柱	1. 644d	7.341 lei	[] [] [] [] [] [] [] []	[PW] _EL. /// [25]	
河原第3遺跡	熊本県	43432	082	32°	130°	2004	0927~	8 m²	学術調査	
阿蘇郡				48′	55′	20	041007			
かわはらだいいせき	にしはらむら 西原村 おおあざ	43432		2"	28"					
河原第6遺跡	大字		085	32°	130°			4 m²	į	
	河原 ************************************			47′ 59″	55′ 10″					
			3101 240	L				ride Sin also w	=	
所収遺跡	種別	時代 ——		:	遺物		特記事項			
河原第3遺跡	包蔵地		旧石器時代		縄文土器		細石刃石器群ブロックの検出 			
·		细士化	_	細石刃石器群		各群				
		縄文時代	•	'		イフ形石器				
					1 / ///					
河原第6遺跡	包蔵地	旧石器時代	弋	*	祖文土器	文土器		土層堆積状況の確認		
		}								
	縄文時代									
 備考	北緯と東経は世界測地形による。ただし、その数値は国土地理院ホームページの									
	地形図閲覧システムによるもので、基準点測量によって得られたものではない。									

2004年度 研究室の足跡

4月1日 学部2年生4名進級、3年次編入生1名編入、大学院生4名入学、研究生2名入学

4月24日~5月1日 熊本県上天草市大矢野町千崎古墳群の測量調査

5月15日 甲元眞之先生の還暦を祝う会

6月23日~6月25日 小畑弘己助教授韓国で古代種子調査

7月24日~8月6日 甲元眞之教授、小畑弘已助教授、芝康次郎(文学研究科修士2年)、ロシア・ザイサノフ

カ7遺跡の調査

7月25日 朴天秀韓国慶北大学校副教授(熊本大学特別研究員)帰国

8月31日~9月16日 熊本県上天草市大矢野町千崎古墳群の第3次調査

8月31日~9月16日 熊本県上天草市大矢野町長砂連古墳の石障実測調査

9月4日~9月10日 甲元眞之教授中国社会科学研究院考古研究所国際会議出席

9月4日~9月17日 木下尚子教授タカラガイ研究のための中国調査

9月23日~9月26日 大学院集中講義「文化財保全政策」四日市市立博物館 和田勝彦先生

9月27日~10月7日 熊本県阿蘇郡西原村河原第3遺跡の第5次調査ならびに河原第6遺跡の第1次調査

10月8日~10月11日 文学部・大学院集中講義「東アジアの初期鉄器文化研究」愛媛大学 村上恭通先生

10月21日~11月4日 小畑弘己助教授ロシア科学アカデミーで古代種子調査

10月25日~10月31日 鹿児島県大島郡笠利町マツノト遺跡の発掘調査

11月11日~11月14日 甲元眞之教授韓国東亚大学校国際会議出席

12月2日~12月5日 甲元真之教授韓国忠南大学校百済研究所国際会議出席

12月26日~ 李起吉韓国朝鮮大学校教授(熊本大学特別研究員)来日

1月7日 修士論文提出

金 姓旭「石器組成から見た韓半島新石器時代の生業」

芝康次郎「石器群構造分析から見た細石刃文化」

西嶋剛広「鋲留短甲の製作および副葬の変遷とその意義」

1月12日 卒業論文提出

壱岐尾可奈子「弥生時代丹塗土器に関する一考察」 沖 謙介「熊本北部地域における板碑の諸様相」 神川めぐみ「鈴桶型石刃技法に関する一考察」 児玉 幹「九州地方における古墳時代馬具の研究」

斎藤伸太郎「いわゆる平沢良技法に関する基礎的研究」 三宮慶太「九州における土偶の研究」

末永浩平「北部九州の須恵器研究」

高橋直人「弥生時代を中心とした木製容器の動向」

八郷芙美「縄文時代農耕に関する一考察」 前田真由子「九州形象埴輪に関する研究」

松ヶ野恵「円筒埴輪から見た古墳時代の中九州」

山下典子「鏡片および弥生小形仿製鏡に関する一考察」

1月30日~2月3日 小畑弘己助教授ロシア科学アカデミーでザイサノフカ7遺跡整理

2月5日 卒業論文・修士論文口頭試問会

3月6日 日本 (小畑・甲元)、韓国 (安承模)、ロシア (Y.Vostresov) 古代種子共同研究検討会

3月25日 卒業式・修了式 学部生12名、大学院生3名を送る

3月31日 考古学研究室報告第40集発行

考古学研究室報告 第40集

発行年月日 2005年3月31日

編集·発行 熊本大学文学部考古学研究室

〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40-1

TEL.096-344-2111 (代表)

印 刷 シモダ印刷株式会社

〒862-0951 熊本市上水前寺2丁目16-16

TEL.096-383-5512 FAX.096-386-5454